

令和5年度 第1号
令和5年7月
研究推進・地域連携センター

立正大学における研究不正防止に関する啓発活動の一環として、本学における取組や不正発生要因への対応等を定期的にお知らせいたします。

●不正防止推進委員会の開催における計画の策定

令和5年6月29日に開催されました令和5年度第1回不正防止推進委員会にて「令和4年度不正防止計画」の実施状況が確認され、「令和5年度不正防止計画」が新たに計画されました。また併せて、「令和5年度立正大学におけるコンプライアンス教育・啓発活動計画」が新たに策定されました。本学では公的研究費の不正使用防止に関する取り組みを引き続き行って参ります。

●令和5年度版公的研究費取扱要領の発行

立正大学では毎年「公的研究費取扱要領」を作成しております。公的研究費における経費執行の際に、ご活用いただけますようお願い申し上げます。

また、令和5年5月22日に令和5年度科研費経理説明会を実施いたしました。未視聴の研究代表者及び研究分担者の皆様はオンデマンド配信も行っておりますので、動画視聴をご希望される方は研究推進・地域連携課までご連絡ください。



●不正使用に関する通報（告発）窓口

本学では公的研究費の不正使用等に対応するための通報（告発）窓口を監査室に設けております。告発は、原則として顕名で受け付けます。該当事項について具体的に、かつ合理的理由を添えて書面、ファクシミリ、電子メール、電話または面談により告発窓口へ通報してください。なお、告発にあたっては通報者に関する秘密は保護されます。

対応窓口：監査室
(〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16)
・電話：03-3494-8173
・FAX：03-5487-3343
・E-mail：kansa@ris.ac.jp

●研究における不正使用事例

文部科学省「研究機関における不正使用事案」のうち、「カラ出張」に係る事例を紹介いたします。(参照：https://www.mext.go.jp/a_menu/kansa/houkoku/1364929.htm)

項目	内容
不正の種別	カラ出張
不正が行われた年度	平成 26 年度～平成 28 年度
研究機関	K 看護大学
不正に支出された金額	658,228 円
契機	平成 28 年 11 月 8 日に「K 看護大学教員 2 名のフランスへの学会出張は、実際には学会への出席は数日のみなので調査を求める」と神戸市長及び学長宛の匿名の告発文を受理したことによる。
概要	<p>【背景】 教員 A はフランス方面へ旅行に行くためには、多額の経費が必要となる一方で、海外出張においては、現地で監査の目が行き届かず、出張報告書において事実と異なる記述をしても判明しないのではないかと考えた。 →公的資金に対する認識の欠如、コンプライアンス意識の欠如、研究費の使用目的に関する認識の欠如</p> <p>【手法】 出張期間中に開催予定である学会や会合へ出張したように装うことや、架空の用務を設定することで、研究課題に沿った内容の出張であるかのように見せかけた。公的研究費が海外旅行に充てられたため、私的流用があったと認定した。</p>
発生要因	<ul style="list-style-type: none"> ・出張の事実確認方法の不備 ・研究費の使用に関する認識の欠如
発生防止策	<ul style="list-style-type: none"> ・出張前の用務の確認の徹底 ・出張報告書の確認の徹底 ・コンプライアンス教育の徹底
研究機関が行った措置	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者の処分 → 教員 A に対して、公的研究費の不正使用額等の返還を求めるとともに、平成 29 年 3 月 30 日付で停職(6 か月間)の懲戒処分とした ・本件の公表状況 → K 看護大学の HP に公表

【本件担当】総務部 研究推進・地域連携課
品川キャンパス
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
電話：03-3492-8152
熊谷キャンパス
〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉 1700
電話：048-536-6019
共通メールアドレス：shien@ris.ac.jp